

### 3 事業の点検・評価

#### 分野1 生涯学習の充実

施策 (1) 広がりや深まりのある生涯学習の推進			
項目 ①多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信			
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
生涯学習の普及啓発 【生涯学習課】	市民が積極的に生涯学習に取り組めるよう、情報収集・提供し普及啓発し実践につなげる	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報にのへやホームページ、コミュニティFMを活用した情報提供</li> <li>・ 生活に必要な知識や技能の習得、教養を身につけたりする学習機会の提供</li> </ul> <p>高齢者のための講演会 100人 読み聞かせ基礎講座 延べ36人 読み聞かせ講座 親子284人</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報にのへやホームページ、コミュニティFMを活用した情報提供を行うとともに、講座等の開催により実践的な学びを深めることにつながった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報提供の機会としてホームページやコミュニティFMの活用を推進する。内容の充実を図り、市民の積極的な学習意欲の醸成に努める。</li> </ul>
項目 ②市民の「学び直し」など生涯学習活動の支援			
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
放送大学岩手学習センター二戸校の周知・環境整備 【生涯学習課】	放送大学岩手学習センター二戸校の周知や利用環境の整備を図り、市民が気軽に立ち寄ることのできる学習拠点として活用されることを目指す	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報にのへに入学生募集や大学説明会の案内を2回掲載した他、ホームページやコミュニティFMにより周知した。</li> <li>・ DVDやCDにおいて視聴できる外国語科目を多くするように努めた。</li> </ul> <p>【数値目標】 二戸校利用者数(人) H28：延べ 60 H32：延べ 80</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 延べ利用者数は昨年度と同水準に留まったものの、数値目標を概ね達成することができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学び直しへの意識啓発、周知・啓発を継続し、認知度の向上に努めるとともに、多様な科目を配架し、利用者の関心を高めるよう努める。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】 二戸校利用者数(人) R1：延べ72 (対H28目標120%) (対H32目標90%)</p>
項目 ③学習成果の活用			
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
ホームページ等による指導者情報の提供 【生涯学習課】	市民の社会貢献意欲を後押しするため、社会教育活動で学んだ成果や、自らが社会で学んできた知識・経験を生かすことができる仕組みを構築する	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報「こしゃーる」欄とホームページを活用し、社会教育活動団体等を紹介した。</li> </ul>	<p>◎評価 【 C 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育団体の活動紹介や、成果の公開は広報「こしゃーる」欄を活用し、情報発信に努めた。各種サークル指導者の高齢化等により、後継者育成に繋がらなかった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育団体等の活動と市民とのニーズをつなぐ仕組みづくりを目指す。</li> </ul>

## 分野2 学校教育の充実

施策	(1) 学力向上対策の推進																																					
項目	①学力と創造性を伸ばす教育の推進																																					
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等																																			
<b>学力向上推進事業</b> (東京学芸大学連携事業を含む)	授業力向上のための教員研修と学力向上のための授業実践の充実に努め、児童生徒の学力向上を図る	<p>1 派遣研修 [ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上先進地視察研修 (小学校教諭7人、中学校教諭3人派遣)</li> <li>・理科研修 (中学校教諭1人派遣)</li> <li>・3年目研修 (小学校教諭4人、中学校教諭1人派遣)</li> </ul> <p>2 授業力向上研修 [ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R1.10.11 数学科授業力向上研修 参加者：福岡中学校第1学年22人</li> <li>・R2.1.28 小学校外国語活動授業力向上研修 参加者：福岡小学校第5学年43人</li> <li>・R2.1.9 学力向上講演会 参加者：福岡中学校116人</li> </ul> <p>3 学力向上推進実践校指定 [ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石切所小学校へ学習支援員を1名配置し、主に算数科の授業で複数による指導を展開した。</li> </ul> <p>4 研究授業訪問・学力向上ヒアリング [ 新規 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業訪問は8校13授業を訪問</li> <li>・学力向上ヒアリングはR2.1.7～9に実施</li> </ul> <p>5 公開講座 [ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の研修ニーズに応えるため、講座1「発達障がい理解と対応」</li> <li>講座2「教科から広げるプログラミング教育 ～音楽・図工・理科を横断しながら～」の2講座を開設した。</li> </ul> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>1 全国学調算数・数学正答率</p> <table border="0"> <tr> <td>H28</td> <td>小6 : 100</td> <td>H32</td> <td>小6 : 101</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中3 : 100</td> <td></td> <td>中3 : 101</td> </tr> </table> <p>2 県学調国語正答率</p> <table border="0"> <tr> <td>H28</td> <td>小5 : 100</td> <td>H32</td> <td>小5 : 101</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中1 : 100</td> <td></td> <td>中1 : 101</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中2 : 100</td> <td></td> <td>中2 : 101</td> </tr> </table>	H28	小6 : 100	H32	小6 : 101		中3 : 100		中3 : 101	H28	小5 : 100	H32	小5 : 101		中1 : 100		中1 : 101		中2 : 100		中2 : 101	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>1 算数・数学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数の平均正答率は、全国学調、県学調ともに全国・県平均を上回った。特に、県学調では県平均を大きく上回っており、全国や県平均並の結果を維持している。</li> <li>・数学の平均正答率は、全国学調で全国平均を大きく下回ったが、県学調は県平均を上回っている。中学3年生については、各校が事後指導に力を入れて指導した。また、無解答の割合は大きく低下していることから、授業改善に向けた取組の成果が表れ始めている。</li> </ul> <p>2 国語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の平均正答率は、全国学調、県学調ともに、全国平均・県平均を大きく上回っており、授業改善の成果が表れてきている。</li> <li>・中学校の平均正答率は、全国学調では全国平均並みだった。県学調ではわずかに県を下回ったが、概ね県平均並みを維持している。</li> </ul> <p>3 他教科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県学調では概ね県平均並以上の結果となり、現状を維持している。特に理科は、小学校、中学校ともに、県平均を大きく上回っている。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の学力の状態を維持するために、これまでの取組を継続する。</li> <li>・中学1年生を対象に4月に実施する新入生学調の結果が芳しくない。連続性を持たせた指導、これまでに身に付けてきた力をうまく引き出す指導等を展開するために、小中連携を中心に据えた授業改善の取組を継続して展開していく。</li> </ul> <p><b>【数値目標の実績】</b></p> <p>1 全国学調算数・数学正答率</p> <table border="0"> <tr> <td>R1</td> <td>小6 : 104 (対H28目標 104%)</td> <td>(対H32目標 103%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中3 : 84 (対H28目標 84%)</td> <td>(対H32目標 83%)</td> </tr> </table> <p>2 県学調国語正答率</p> <table border="0"> <tr> <td>R1</td> <td>小5 : 107 (対H28目標 107%)</td> <td>(対H32目標 106%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中1 : 96 (対H28目標 96%)</td> <td>(対H32目標 95%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中2 : 98 (対H28目標 98%)</td> <td>(対H32目標 97%)</td> </tr> </table>	R1	小6 : 104 (対H28目標 104%)	(対H32目標 103%)		中3 : 84 (対H28目標 84%)	(対H32目標 83%)	R1	小5 : 107 (対H28目標 107%)	(対H32目標 106%)		中1 : 96 (対H28目標 96%)	(対H32目標 95%)		中2 : 98 (対H28目標 98%)	(対H32目標 97%)
H28	小6 : 100	H32	小6 : 101																																			
	中3 : 100		中3 : 101																																			
H28	小5 : 100	H32	小5 : 101																																			
	中1 : 100		中1 : 101																																			
	中2 : 100		中2 : 101																																			
R1	小6 : 104 (対H28目標 104%)	(対H32目標 103%)																																				
	中3 : 84 (対H28目標 84%)	(対H32目標 83%)																																				
R1	小5 : 107 (対H28目標 107%)	(対H32目標 106%)																																				
	中1 : 96 (対H28目標 96%)	(対H32目標 95%)																																				
	中2 : 98 (対H28目標 98%)	(対H32目標 97%)																																				
【教育企画課】																																						

施策 (2) 豊かな心を育む教育の充実			
項目 ①豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり			
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
道徳教育の充実  【教育企画課】	道徳教育について教員の指導力の向上を図り、他人を思いやり良好な人間関係を築くことができる子どもを育てる	[ 継続 ] ・道徳授業パワーアップセミナー (小学校教諭2名派遣) ・道徳授業パワーアップセミナー研修 (R2.1.9 福岡中学校) 参加者116人 ※兼二戸市学校教育研究会学力向上講演会	◎評価 【 A 】 ・道徳授業パワーアップセミナーへの派遣により、今後の道徳教育の在り方について理解を深めた。 また、道徳授業パワーアップセミナー研修会(学力向上講演会)では、市内全ての先生方が、「特別の教科道徳」の指導と評価の在り方を学ぶ機会となった。 [今後の方向性等] ・教科として実施されるようになった道徳について、各校の授業改善の取組を支援していく。
教育相談の充実  【教育企画課】	教育相談・支援体制を充実し、子どもたちが安心して学習し、学校生活を送ることができることを目指す	[ 継続 ] ・教育相談員学校訪問(定期)2回 ・相談件数 31件 ・各校に適応指導教室のチラシを配布し、適応指導教室「おあしす」の周知を図った。	◎評価 【 A 】 ・欠席がちな児童生徒やその担任、保護者からの相談に対応したことで、不登校が長期化するのを防ぐことができた。 [今後の方向性等] ・学校との連携を図り、情報共有に努め、教育相談を通して、不適応児童生徒の不安や悩みを解消していく。
項目 ②生徒指導の充実			
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
不登校児童生徒へのきめ細やかな指導  【教育企画課】	一人ひとりに寄り添った相談・支援体制の充実を図る	[ 継続 ] ・子育て支援課や児童相談所との情報共有 ・不適応状況報告をもとにした学校の対応への指導・助言 ・不登校児童生徒を抱える学校への訪問 ・適応指導教室「おあしす」の運営 ・不登校児童生徒数 (R1) 小：3人、中：16人  【数値目標】 不登校児童生徒の割合(%) 小 H28：0.26 H32：0.19 中 H28：2.20 H32：1.80	◎評価 【 B 】 ・学校訪問を通して、不適応児童生徒及び心配される児童生徒への対応について助言を行うことができた。 各学校で行われる適応支援会議において、各学校の取組の在り方について助言を行うことができた。 [今後の方向性等] ・各校と緊密に連携を図り、不適応児童生徒への継続した対応について助言する。児童生徒のわずかな変化を見逃さない体制づくりを支援していく。  【数値目標の実績】 不登校児童生徒の割合(%) 小 R1：0.26 (対H28目標 100%) (対H32目標 63%) 中 R1：2.53 (対H28目標 85%) (対H32目標 59%)
いじめ問題に対する確実な取組  【教育企画課】	未然防止・早期発見、早期の組織的な対応の取組を継続する	[ 継続 ] ・学校生活アンケートの実施(6月) ・校長会議での早期対応の助言 ・教員やスクールカウンセラー等による各学期1回以上の教育相談の実施	◎評価 【 A 】 ・市内の児童生徒のいじめの実態を把握することができた。各学校でいじめ防止基本方針の見直しを行ったり、いじめに関する校内研修を行ったりすることで、「いじめ」の定義や対応についての理解が浸透することにつながった。 [今後の方向性等] ・いじめの認知や学校の対応についての校内研修を実施することで、各学校の組織的対応力を高めていく。

事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
各関係機関との情報共有体制の構築及び連携の充実  【教育企画課】	関係機関と連携し、児童生徒や家庭、学校への支援の充実に努める	[ 継続 ] ・いじめ防止対策委員会の実施（11月）	◎評価 【 A 】 ・「学校生活アンケート」結果を基に、市内の児童生徒のいじめの状況を関係機関で共有するとともに、重大事態発生時の対応を確認することができた。  [今後の方向性等] ・関係機関と連携を図りながら、いじめの早期発見や早期対応に努めていく。
項目	③郷土教育の推進		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
郷土教育の推進  【教育企画課】	二戸市の先人、自然、歴史・文化等の学習を通して、郷土に対する理解を深め、愛着心や誇りを育てるとともに、次代を担う人材の育成を目指す	[ 継続 ] ・副読本「二戸市の先人たち」を小学校6年生へ配付し、活用事例を紹介をするなど、その活用を促した。  ・地域素材を活用した地域学習の推進と、それに関わる情報提供をした。	◎評価 【 B 】 ・学習発表会や授業など、地域素材を活用した実践について、各校に利用を促すことができた。  [今後の方向性等] ・副読本「二戸市の先人たち」については、今まで6年生からの配付だったが、5年生から配付し、2年間かけて全員が「一度は内容全てを読んだことがある」という状況にすることを目標に取組を進める。
小学校副読本の充実及び活用  【教育企画課】		[ 継続 ] ・副読本「わたしたちの二戸市」を活用することで、地域への関心を高め、資料を活用する力の育成を図った。	◎評価 【 A 】 ・小学校3・4年生の社会科授業の副読本として、二戸市の地形、農業・商業・工業、公共施設等について、学習での活用を進めることができた。  [今後の方向性等] ・令和2年度は社会科副読本「わたしたちの二戸市」の一部改訂を進める。 ・授業での活用を促すために、副読本活用事例の紹介を行う。
項目	④社会の変化に対応した多様な教育の推進		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
国際理解教育の推進  【教育企画課】	異なる文化や伝統を理解し、国際社会の発展に貢献できる児童生徒を育成する	[ 継続 ] ・中高生海外派遣研修事業として、中学生10人、高校生4人の計14人を海外に派遣し、国際感覚豊かな人材の育成を図った。  参加者：中学2年生10人、高校生4人 日程：R2. 1. 5～12 場所：イギリス・グラスゴー  ・中学生異文化交流研修事業として、中学生と岩手大学の外国人留学生との交流を通じて、異文化の理解を深めた。  参加者：中学1・2年生17人 日程：R1. 7. 6 場所：国立岩手県青少年交流の家	◎評価 【 A 】 ・イギリスでのホームステイや愛橋博士の功績についての学び、岩手大学の留学生との交流などを予定どおり実施し、グローバルな視野を身に付ける機会を持たせることができた。 ・H25研修生を対象に行ったアンケート結果では、国際的な視野、多様な価値観を身につけたことや愛橋博士の学びを通して、進路や将来の目標設定に役立っているとの回答があり、事業の目的が達成されている。  [今後の方向性等] ・研修生や引率者の感想や意見を踏まえながら、研修内容を見直し、充実を図る。

事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
キャリア教育の推進  【教育企画課】	子ども一人ひとりが主体的に自己の進路を選択、決定できる能力やしっかりとした勤労観・職業観を身に付け、社会の一員として自立する力を養う	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各校のキャリア教育全体計画の提出と全体計画の見直しの支援</li> <li>体験的な学習の充実に向けた支援</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各校のキャリア教育の実施状況を把握し、事前事後の研修の充実を図るよう助言した。</li> <li>全ての中学校で職場体験2日以上、事後指導を5時間以上実施するなど、県の目標は達成し、体験的な学習の質的向上を図ることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、中学校の職場体験2日以上と、事後指導5時間以上の確実な実施に向けた働きかけに努める。</li> </ul>

施策	(3) 健康・安全教育の推進
----	----------------

項目	①健康・安全教育の充実
----	-------------

事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
学校保健の推進  【教育企画課】	児童生徒が健康で明るい学校生活を送れるよう、全ての児童生徒・保護者が、健康や食事、学校保健衛生の改善向上に関心を持ち、健康的な生活習慣や運動習慣を身に付ける	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>疾病の早期発見、早期治療のため、内科検診、歯科検診、尿検査等を実施した。</li> <li>学校環境衛生検査を実施し、学校環境の把握と環境の改善・整備に努めた。</li> <li>学校保健会等への補助を実施し、学校と医療機関、行政が連携し、健康に関する指導方法の協議や研究大会を開催した。</li> </ul> <p>・肥満対策については、二戸地区学校医連絡協議会において、医療機関・学校・各教育委員会、保健師、栄養士により構成する小委員会を設け、分析とその対応について二戸地区全体で研究を行った。</p> <p>【数値目標】 肥満傾向児童生徒の割合(%) 小4 H28 : 11.0 H32 : 10.5 中1 H28 : 17.6 H32 : 15.4</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関等と連携し、地域全体で児童生徒の健康を維持・増進するための取組を実施した。また、肥満対策についても、学校・医療機関・保護者等が一体となり対策を推進した。</li> <li>肥満傾向児童生徒の割合は、前年に比べ、小学校4年生が大きく増加したが、中学校1年生が減少し、概ね数値目標を達成することができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校と医療機関等との連携を密にして、地域全体で健康教育の推進に努める。</li> <li>肥満対策は、学校、医療機関、保護者等が、改善に向けて取り組むことが必要であることから、学校における児童生徒への教育、各種検診を進めるほか、研究大会などの場を通じて、保護者への健康教育を推進する。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】 肥満傾向児童生徒の割合(%) 小4 R1 : 17.0 (対H28目標 45%) (対H32目標 38%) 中1 R1 : 12.3 (対H28目標 130%) (対H32目標 120%)</p>
安全教育の推進  【教育企画課】	児童生徒の安全安心な学校生活の確保と安全教育の推進	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校で交通安全教室を開催し、児童生徒に対し交通ルールや自転車の安全運転の指導を行った。</li> <li>スクールガードによる地域の見守りを実施した。</li> <li>二戸市通学路交通安全プログラムについて、対策箇所の解消に向け点検、確認を行った。また、保護者に対し満足度調査を実施し、対策箇所に関して実態を把握した。</li> <li>登下校安全プログラムによる防犯の観点による通学路の点検を実施した。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう、地域と一体となった取組を予定どおり実施し、安全教育の推進につながった。</li> <li>通学路の安全対策は、関係機関と連携し危険箇所の解消に向けて、順次取組を進めている。</li> <li>全国で発生した通学時の事件・事故を受けて、市内小中学校の通学路の点検を実施した。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続して取り組むことで、児童生徒に交通安全についての意識の定着を促す。通学路の安全確保のため地域との連携を図る。</li> </ul>

②学校給食の充実				
項目	事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
	栄養教諭等による食に関する指導	食に関する指導のさらなる充実を図り、望ましい食習慣と健全で豊かな食生活を実践する力を習得させる	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭による食指導の授業を35回、給食訪問は37回、交流給食会は1回と食に関する指導を前年以上に実施した。</li> <li>・毎月家庭に配布する「こんだてのお知らせ」及び「二戸食(にこしょく)だより」の現地取材を実施し、生産者の取り組みを紹介するなど地産地消の話題や家庭における食の正しい知識と習慣の普及を図った。</li> <li>・メニューごと、学校ごとの残食の量を計測し、残食量縮減のための基礎データを取得。結果、メニューと残食量の分析が可能となり、献立作成の参考となった。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度は48回、H30年度は59回、R1年度は73回と食に関する指導の回数を増やすことにより、子供たちや保護者に正しい食事の知識や習慣性が浸透してきている。</li> <li>また、内容も教材を使って様々工夫し、体験的に学べる学習方法を取り入れるなどした結果、学校等の事後アンケートでは、頑張っただけで食べるようになったとか食べ残しが減った、食習慣に改善が見られたなど年々効果が表れ、高い評価を得ている。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も食に関する指導の充実を図るとともに、「二戸(にこ)食だより」や「こんだてのおしらせ」などにより、生産者の紹介などを通して地場産品の大切さと地産地消の意義を学び、食に関する正しい知識と習慣の普及に努める。</li> </ul>
	【学校給食センター】			

施策 (4) 幼児教育・特別支援教育等の充実				
①幼児教育の支援と連携				
項目	事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
	幼児教育への支援	関係部局との連携を図り、幼児及びその保護者に対する相談や支援を充実する	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児発達相談へ毎回、職員を派遣し、保護者向けの幼児教育に関する講座を担当した。</li> <li>・社会福祉協議会「早期発達相談」への講師の派遣として、「就学に向けて」の講義を行った。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の講話により、子どもへの関わり方についての理解が深まっただけでなく、保護者としての自覚を促すことにもつながった。</li> <li>・早期発達相談の学習会で、就学に向けての講義を行ったことにより、就学相談につなげることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園等で開催される保護者学習会等があれば、講師派遣を行う。</li> </ul>
	【教育企画課】			
	幼保小連携の推進	小学校生活へ円滑に適應できるよう、情報共有と相互理解が図られる体制を構築する	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保こ小連携推進会議の在り方について協議し、幼児連絡票の様式の吟味等を行った。</li> <li>・市内の小学校と保育所・認定こども園等から各1名以上参加する「幼保こ小連携研修会」において、認定こども園ともいきの保育を参観し、協議と情報交換会を行った。</li> <li>・幼児連絡表を就学時検診に活用した。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携推進会議では、隔年で小学校と保育所・こども園等の授業を見合うという道筋を示すことができた。幼児連絡表は、一目で幼児の情報が分かるように改定し、スムーズな連携につながった。また、二戸市スタートカリキュラムについて、情報提供することができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の授業や活動場面の参観を通して「学びの進め方の違い」についての理解を更に深め、スタートカリキュラムの改善につなげる。</li> </ul>
	【教育企画課】			

②特別支援教育の充実				
項目	事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
	特別支援教育の充実	児童生徒の状況に応じた学習環境の整備やきめ細やかな支援の在り方の検討を通して、支援の充実を図る	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会の開催 特別な支援を要する児童生徒一人ひとりについて、望ましい学習環境や支援のあり方を検討するために年3回開催した。(対象者108人)</li> <li>・個別支援ファイルの作成と活用 特別な支援を要する就学予定児、児童生徒を対象に、個別支援ファイルを作成し、支援計画の立案や引継ぎ資料として活用を行った。</li> <li>・専門委員の認定こども園等・学校への派遣 教育委員会の職員が市内全ての保育所、認定こども園、関係施設を訪問し、就学支援に向けた参観と情報交換を行った。(保育所4か所、こども園4か所、発達支援センター「風」を訪問)</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学予定児に対して、関係機関や専門委員との連携により、早い時期からの相談を実施したことで、望ましい就学先を決定することができた。</li> <li>・個別支援ファイルを活用しながら進学先等に対する引継ぎを行ったことで、望ましい対応の継続につながった。</li> <li>・教育委員会職員の訪問により、スムーズな就学支援を行うことができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な支援を実施するためにこれまでの取組を継続する。より良い就学支援のために、特別支援学級担当者から情報を得る機会を設定する。</li> </ul>
	特別支援教育支援員の配置	特別な支援を要する児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、支援員を配置し、支援の充実を図る	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員の学校への配置 特別支援教育支援員14人を、小学校5校、中学校2校に配置し、特別な支援を要する児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行った。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を要する児童生徒への支援の充実だけでなく、学級全体の円滑な運営にも貢献することができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な支援の実施と円滑な学級運営のためにも、これまでの取組の継続と適切な配置に取り組む。</li> </ul>
	特別支援学校開設の要望	望ましい教育環境を整えるために、小中高一貫の独立した支援学校の設置を目指す	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県知事及び県教育委員会に対して、分教室の現状を説明し、独立した支援学校の設置を要望した。</li> <li>・県教育長による小中高分教室現地視察の機会があり、情報共有を図り、それぞれの課題を認識できた。 (分教室在籍児童生徒数 小学部30人、中学部4人、高等部14人)</li> </ul>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県に対して独立校の必要性を訴え、一定の理解を得ることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き県に対して独立校の設置を要望していく。</li> </ul>
③高等学校教育への要請				
項目	事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
	高等学校教育の充実と環境整備の要請	中学校を卒業した児童生徒が能力や個性を伸ばせるよう、高等学校教育の充実と環境整備を推進する	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数の減少に伴い、県立高校の再編が進められているが、生徒の多様化する進路に応えられるよう、高校再編計画のパブリックコメントに対して意見書を提出した。</li> </ul>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県に対して、将来を見据えた進路の選択や市における高等学校の位置づけ等、福岡工業高校の存続について伝えることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域検討会議等で引き続き、福岡工業高校の存続を訴えていくとともに、校舎全体の老朽化が顕著となっている福岡高等学校の校舎全面改築を要望していく。</li> </ul>

施策	(5) 教育環境の整備・充実		
項目	①学習環境の充実		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
就学援助  【教育企画課】	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等の各種経費の一部を補助することで、保護者の経済的負担を軽減するとともに、教育の機会均等を確保する	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護及び準要保護児童生徒（248人）の保護者に対して就学に必要な経費の一部を援助した。</li> <li>・年間を通して申請を受け、必要ときに援助を受けられる環境づくりに努めた。</li> <li>・R1年度新入学児童生徒への学用品費の入学前支給を実施した。</li> <li>・国の制度改正に伴う新たな支給費目の追加等について規定等の整備を行った。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・援助が必要と認められる児童生徒の保護者に対し適切に援助を行い、経済的負担軽減と教育の機会均等の確保につながった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携し、保護者へ制度内容の周知を図りながら、適切に支援を行っていく。</li> </ul>
育英資金貸与事業  【教育企画課】	経済的理由により修学が困難な者に対して、修学の機会を確保し、人材を育成する	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校等9人、大学等44人、計53人に貸与した。（うち、R1年度新規貸与生は高校等4人、大学等13人の計17人）</li> <li>・地元就職者に対する返還免除は11件であった。</li> <li>・貸付返還金の滞納額は前年度比で減少しており、滞納の解消に努めた。</li> </ul>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸与希望者は減少傾向にあるが、貸与事業を円滑に実施し、修学の機会確保に努めた。また、H29年度より創設した返還免除等は利用者も増え、定住促進に寄与した。</li> <li>・貸付返還金の滞納額は前年度比で減少しており、滞納の解消に向け着実に取り組みを進めることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸与希望者に対する円滑な貸与の実施を行うとともに、返還金の滞納者に対し納付に向けた働きかけを行っていく。</li> </ul>
遠距離通学者への支援の充実  【教育企画課】	遠隔地から通学する児童生徒の保護者に対し、通学費の一部を補助することで、経済的負担の軽減を図る	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学費補助として、小学校において通学距離が片道4km、中学校においては片道6km以上の児童生徒で、公共交通機関を利用して通学している者の保護者に対して、通学にかかる経費の1/2を補助した。また、学校統合条件による補助を行った。</li> <li>・児童生徒を輸送するスクールバスを運行することによって、遠距離通学児童生徒の通学手段の確保と、保護者の経済的負担の軽減を図った。また、老朽化した浄法寺地区のスクールバス1台を更新した。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学や学校統合条件の児童生徒の保護者に対し必要な支援を行い、負担軽減へとつながった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続して、通学費補助及びスクールバスの運行を行う。また、老朽化したスクールバスの更新を随時行う。</li> </ul>



事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
図書に親しむまち推進事業  【教育企画課】	幼児期から本に親しむ機会や環境を整えることで、読書意欲の向上及び読書習慣の定着を図る	[ 継続 ] ・児童生徒への図書の贈呈として、市内全小中学生に、希望の図書を贈呈した。 (小1, 146冊、中650冊、計1, 796冊)  ・学校図書館支援員(3人)の配置により、各小中学校の巡回訪問を行い、蔵書の管理、図書室の環境整備の支援等を実施した。  [ 新規 ] ・こども新聞の活用  <b>【数値目標】</b> 学校図書標準冊数達成校(校) 小 H28: 7 H32: 8 中 H28: 4 H32: 4 (※H30 御返地中統合)	<b>◎評価 【 A 】</b> ・全ての児童生徒へ図書贈呈を行うとともに、学校図書館支援員の配置により学校図書室の環境を整備した。また、学校図書標準冊数については、数値目標を達成し、読書意欲の向上や読書習慣の定着につながった。  ・小学校5・6年生に「こども新聞」の配布を行ったことにより、社会への関心が高まり、国内外の社会の動きに目を向ける児童が多くなった。また、新聞記事をきっかけとして親子の会話が増えたという声も聞かれた。  <b>[今後の方向性等]</b> ・図書の贈呈をきっかけに、読書習慣の定着につながるよう、図書の種類や支援の内容を工夫しながら、継続的に事業を推進する。  <b>【数値目標の実績】</b> 学校図書標準冊数達成校(校) 小 R1: 8 (対H28目標 114%) (対H32目標 100%) 中 R1: 3 (対目標 100)
ICT(情報通信技術)機器の整備、情報教育の推進  【教育企画課】	社会の情報化の進展に対応した情報教育の推進	[ 継続 ] ・教育用コンピュータ整備事業 情報化社会に即した教育を推進するため、市内小中学校のコンピュータ周辺機器を更新した。	<b>◎評価 【 A 】</b> ・小中学校のコンピュータ周辺機器を予定どおり更新し、教育環境の向上が図られた。 <b>[今後の方向性等]</b> ・文部科学省より示された「GIGAスクール構想」の実現に向け、ネットワーク環境とICT機器の整備を行うとともに、ICT機器を活用した情報教育の推進を図る。
小中学校の適正配置に向けた取組  【教育企画課】	二戸市立小中学校適正配置基本方針に基づき、適正な配置を目指す	[ 継続 ] ・R1年度 御返地中学校統合	<b>◎評価 【 A 】</b> ・二戸市立小中学校適正配置基本方針に基づき実施済み。 <b>[今後の方向性等]</b> ・次期二戸市立小中学校適正配置基本方針の策定に向けた準備を進める。
<b>②学校施設整備の推進</b>			
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
小中学校リフレッシュ事業  【教育企画課】	施設の安全確保と長寿命化を図る	[ 継続 ] ・学校施設の安全確保と長寿命化を図るため、次の工事を実施した。  石切所小学校トイレ改修工事 洋便器6基、和便器47基 →洋便器37基、和便器4基  ・児童生徒等の熱中症予防対策のため、次の工事実施した。  小中学校冷房設備設置工事 普通教室 97室 特別教室 34室 職員室 8室	<b>◎評価 【 A 】</b> ・石切所小学校トイレ改修工事については、洋式化を行い、トイレ環境の改善を図った。改修により市内小中学校のトイレ洋式化率は69.6%となった。  ・小中学校エアコン設置工事については、国の冷房設備対応臨時特例交付金を活用して、市内全小中学校の普通教室及び一部の特別教室に設置し、児童生徒の熱中症予防を図った。また、冷房設備未設置の小中学校の職員室にも市単独事業として設置し、教職員の職場環境の改善を図った。  ・改修工事等を計画どおりに実施し、児童生徒の安全かつ快適な学習環境を確保することができた。  <b>[今後の方向性等]</b> ・今後も継続的に予算を確保しながら、計画的な改修に努める。

### 分野3 社会教育の充実

施策		(1) 教育振興運動を基盤とした教育力の向上	
項目		①教育振興運動の推進	
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
各学校における家庭教育学級の開催 (地域学校協働推進事業)  【生涯学習課】	家庭・学校・地域の連携を深め、家庭・地域の教育力向上に努める	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全実践区（全小中学校）において家庭教育に関する幅広い内容で「家庭教育学級」を開催した。</li> </ul> <p>【数値目標】 家庭教育学級開催数(回) H28：46 H32：48</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各実践区（各学校）が主体となって家庭教育に活かせる様々な学びの機会の提供に努め、教育力の向上につなげることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等] ・今後も各実践区と連携しながら学びの機会を提供していく。</p> <p>【数値目標の実績】 家庭教育学級開催数(回) R1：延べ51回（対H28目標 110%） （対H32目標 106%）</p>
教育振興運動集約集会の開催 (地域学校協働推進事業)  【生涯学習課】	地域の教育課題や解決方法について共通理解を図り、教育振興運動の基本理念と運動の進め方について理解を深める	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践区の活動状況の発表、意見交流、教育振興運動の基本理念や全県共通課題の取り組みについての説明、家庭教育に関して、現代における親子関係の実態や変化、子育て等の講演を実施した。市PTA研究大会との合同開催は6年目となった。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践区の活動成果や課題の共有、教育振興運動推進の意識の高揚に努めた。現代における親子関係の実態や変化、子育て等の講演により家庭での実践につながる学びの機会を提供した。また、PTA研究大会との合同開催により関係者との連携が深まり、情報交換や課題の共有にもつながった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等] ・子どもを中心に家庭・学校・地域等が連携を深め子どもの育つよりよい環境づくりに努めていく。</p>
「家庭教育の手引き」の発刊 (地域学校協働推進事業)  【生涯学習課】	家庭での学習の取組み方や望ましい生活習慣の身につけさせ方について啓発を図る	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1年生から中学校3年生までの子どもの発達段階に応じた家庭での家庭学習、生活、読書など学習環境づくりを具体的に紹介している手引きで、市内の全児童生徒の保護者に配布している。</li> <li>・教育委員会ホームページへの掲載</li> <li>・「家庭教育の手引き」編集会議開催及び編集作業</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに掲載し、活用しやすい環境を整えている。学習指導要領の改訂に伴う見直しを行い、学習指導等に対応し家庭での活用に適した内容づくりに努めた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等] ・家庭教育での活用につながる内容づくりや情報提供に努めていく。 ・学習指導要領の改訂に対応した「家庭教育の手引き」を発行・配布する。</p>

項目		②体験的・交流的活動の提供	
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>槻蔭舎きぼう塾事業</p>	<p>将来の進路を考え、大きな志を持って自己実現と社会貢献を目指す青少年の育成や親子のふれあいを深める</p>	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・槻蔭舎きぼう塾 中学生やその保護者を対象とした事業で、大学訪問や郷土史講演、郷土の先人への理解を深める講座など4回の講座を実施。うち、2回はこのへ土曜チャレンジ塾のメニューとして参加者を募集した。</li> </ul> <p>【1回目 R1.9.20】 ○「講談で学ぶ九戸政実～日本の古典芸能にふれる～」 内容：講談や落語、太神楽などの古典芸能の鑑賞 参加者：約800人（一般含む）</p> <p>【2回目 R1.9.28】 ○「郷土を知る講座」 内容：金田一温泉駅から蓑ヶ坂、駕籠立場を目指してのトレッキング 参加者：18人</p> <p>【3回目 R1.11.2】 ○「歴史探訪in八戸 南部氏を知る講座」 内容：八戸市博物館 滝尻侑貴学芸員による講座 参加者：13人</p> <p>【4回目 R1.11.30】 ○「大学訪問in岩手県立大学」 内容：講義体験、キャンパスアテンダントの発表 参加者：31人</p> <p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア槻蔭舎きぼう塾【R2.1.9】 小学生を対象とした事業で、東京の国立科学博物館等での体験学習を実施した。</li> </ul> <p>内容：国立科学博物館、江戸東京博物館等での体験学習 参加者：15人</p> <p>【数値目標】 槻蔭舎きぼう塾開催数(回) H28：5 H32：5</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・槻蔭舎きぼう塾</li> </ul> <p>○1回目の「講談で学ぶ九戸政実～日本の古典芸能にふれる～」は、講談師の神田鯉栄先生がオリジナル脚本の九戸政実』を講談を通して学ぶとともに、桂小文治師匠による寄席教室など古典芸能にもふれる機会となった。</p> <p>○2回目の「郷土を知る講座」は、地元よりゃんせ金田一のガイドのもと奥州街道の絶景の一つ蓑ヶ坂を登り、郷土の歴史を学ぶとともに生まれ育った地域への愛着心を育む機会となった。</p> <p>○3回目の「郷土史講演」では、南部氏の歴史や根城の暮らし、櫛引八幡宮や国宝についてなどわかりやすい解説で理解を深めることができた。</p> <p>○4回目の「大学探訪in岩手県立大学」は、ミニ講義とかつて槻蔭舎きぼう塾に参加した当市金田一中出身の学生がキャンパスアテンダントとして発表。参加者へ大きな刺激となった。</p> <p>また、主に中学生対象の事業であるが、希望する保護者や一般市民の参加者を募り、広く市民への学びの機会の提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア槻蔭舎きぼう塾 「体験学習 ジュニア槻蔭舎きぼう塾」は、主体的な体験学習により子どもの探求心や知的好奇心を育む機会の提供だけでなく、グループでの行動による交流など様々な学びの機会となった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の魅力を認識し、自己の成長や生まれ育った地域の発展に貢献しようとする人材の育成につながる講座の実施に努めていく。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】 槻蔭舎きぼう塾開催数(回) ※ジュニア槻蔭舎きぼう塾も含む R1：5（対H28目標 100%） （対H32目標 100%）</p>
【生涯学習課】			

事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>にのへ土曜 チャレンジ 塾事業</p> <p>【教育企画課】</p>	<p>中学生1・2年生を対象に、郷土の歴史、文化等にふれ、楽しく体を動かすなどの機会を提供し、土曜日の教育環境充実を図る</p>	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生1・2年生を対象に3回実施した。(①R1.9.28②R1.11.2③R1.11.30)</li> <li>・参加者延べ人数：597人</li> <li>・対象生徒数：410人</li> <li>・参加実人数：376人</li> </ul> <p>・実施内容：11メニュー</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 槻蔭舎きぼう塾(菘ヶ坂トレンギ)</li> <li>2 槻蔭舎きぼう塾(南部氏ツアー)</li> <li>3 槻蔭舎きぼう塾(大学訪問)</li> <li>4 ニュースポーツ体験(二戸体育館) 全3回実施、延べ69人参加</li> <li>5 読書(市立図書館) 全3回実施、延べ79人参加</li> <li>6 読書(浄法寺カホピアセンター) 全3回実施、延べ65人参加</li> <li>7 九戸城跡散策 全2回実施、延べ81人参加</li> <li>8 自学自習(市役所) 全3回実施、延べ128人参加</li> <li>9 ジュニア料理教室 全2回実施、延べ38人参加</li> <li>10 文化祭鑑賞 R1.11.2実施、80人参加</li> <li>11 環境学習 R1.9.28実施、5人参加</li> </ol>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体から協力を得て、多くのメニューで実施することができた。</li> <li>・学校の枠を越えた交流や、地域の素晴らしさを知る学習など、土曜日を活用した有意義な学びを提供することができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の見直しを図りながら、地域の団体と連携し、生徒が新たな体験や楽しい学びに取り組める機会の提供に努める。</li> </ul>
<p>放課後子ども教室の開催(地域学校協働推進事業)</p> <p>【生涯学習課】</p>	<p>地域の施設、人材などを活用し子どもたちが安心して活動できる場を確保し日常の中で多くの人と関わり体験的・交流的活動を行う機会を提供する</p>	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内6カ所で延べ910日開設、延べ15,414人が利用した。</li> <li>・中央小学校の「みなわ子ども教室」と二戸西小学校の「斗米地域子ども教室」は、児童クラブとの一体型として実施した。</li> <li>・夏休みと冬休み期間の2回、全利用者を対象にバスツアーを実施した。</li> <li>・芸術文化及びスポーツを体験する機会を提供した。</li> <li>・指導者を対象に研修会を1回開催した。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが安全で自主的な活動ができる居場所として地域の方々や学校と連携しながら開設、運営し、日常的に学年等を越えた交流や学習・創作活動、芸術文化・スポーツ体験の機会を提供することができた。</li> <li>・抽出アンケートで、利用児童が教室に満足している割合は「とても楽しい」67.0%、「まあまあ楽しい」32.0%であり、子どもが安心して活動できる場所が構築できていることを確認できた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や学校と連携しながら地域人材を活用し幅広い体験・交流活動機会を提供していく。</li> </ul>

項目	③社会教育施設を拠点とした市民が行う学習活動の支援										
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等								
多様な学習ニーズにこたえる講座の開催  【各公民館】	市民の生涯学習活動拠点として、市民の学習ニーズ、ライフステージに応じた講座など学習機会を提供する	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報にのへによる年間事業予定の周知</li> <li>・広報、ポスター、チラシ等による講座や教室の周知</li> <li>・各年代（少年、一般、高齢者）に応じた講座や教室の実施</li> <li>・文化祭の実施・各種サークルへの支援</li> </ul> <p>【数値目標】</p> <p>市立公民館講座実施回数(回)</p> <p>H28：207</p> <p>H32：207</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の学習ニーズの把握に努め、講座を実施したが、後半に新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止となったものもあり、実施回数が減少した。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き学習ニーズの把握に努めるとともに現代的課題の講座の実施や休日開催を増やし、市民が受講し易い環境を整備する。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <p>市立公民館講座実施回数(回)</p> <p>R1：192（対H28目標 93%）</p> <p>（対H32目標 93%）</p>								
社会教育団体の支援  【生涯学習課】	次世代の育成や地域課題に取り組む社会教育団体へ支援を行い、地域の社会教育活動の推進につなげる	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して活動を支援している4団体に対する補助金の交付</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>二戸市PTA連合会</td> <td>72千円</td> </tr> <tr> <td>二戸市ユネスコ協会</td> <td>45千円</td> </tr> <tr> <td>浄法寺ユネスコ協会</td> <td>45千円</td> </tr> <tr> <td>ガールスカウト岩手県第13団</td> <td>45千円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に対する相談等への対応</li> </ul>	二戸市PTA連合会	72千円	二戸市ユネスコ協会	45千円	浄法寺ユネスコ協会	45千円	ガールスカウト岩手県第13団	45千円	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育活動が促進されるよう、団体活動等への支援に努めた。1団体は支援を提案したが、活動の停滞を理由に申請がなかった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育団体の活動状況把握に努めるとともに、継続して支援を行う。</li> </ul>
二戸市PTA連合会	72千円										
二戸市ユネスコ協会	45千円										
浄法寺ユネスコ協会	45千円										
ガールスカウト岩手県第13団	45千円										
図書に親しむまち推進事業  【図書館】	幼児期から本に親しむ習慣を培い理解力を育めるよう児童図書の充実と読書を推進していく	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート（10カ月児） 乳児149人に絵本を贈呈し、読みきかせを実施した。（全10回）</li> <li>・おはなしデビュー（3歳児） 幼児175人に絵本を贈呈した。（全10回）</li> </ul> <p>【数値目標】</p> <p>図書貸出冊数（冊）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館 H28：91,800 H32：92,000</li> <li>・カシオペアセンター図書室 H28：6,450 H32：6,500</li> </ul>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ボランティアによる読み聞かせや絵本の贈呈を実施し、読書に親しむ機会を提供することができた。</li> <li>・図書貸出状況は、市立図書館、カシオペアセンター共に数値目標に達することができなかったが、カシオペアセンターは前年度より貸出冊数が増加した。市立図書館は新型コロナウイルス感染症対策でR2.3月に小中学生の入館制限、かつこう号の運行休止を行ったため貸出冊数が減少した。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の贈呈をきっかけに、親子で本に親しむ機会を提供したり、フォローアップ事業の企画や広報活動により貸出増加につながるよう努める。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <p>図書貸出冊数（冊）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館 R1：91,204（対H28目標 99%） （対H32目標 99%）</li> <li>・カシオペアセンター図書室 R1：5,325（対H28目標 83%） （対H32目標 82%）</li> </ul>								

項目		④指導体制の充実	
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<b>専門職員の配置</b>  【生涯学習課】	相談等に対し適正な指導・助言ができるよう専門職員を配置し、指導体制を強化する	[ 継続 ] ・継続して社会教育主事や社会教育指導員を配置し、指導助言を行った。	◎評価 【 A 】 ・関係機関と連携し専門職員による適切な助言、指導に努めた。また、県主催の研修会等に参加し、専門職員の資質向上に努めた。  [今後の方向性等] ・社会教育行政に関わる職員、配置が義務づけられている社会教育主事の養成に努める。
<b>各種研修や大会等への社会教育関係者の参加</b>  【生涯学習課】	社会教育事業を推進するために、社会教育行政に関わる職員等の計画的な養成、関係者の資質向上に努める	[ 継続 ] ・県立生涯学習推進センターの研修を中心に県や県北教育事務所など各種研修会等へ学校関係者、社会教育・家庭教育関係者、職員等が参加した。  【数値目標】 県立生涯学習推進センター研修参加者数(人) H28 : 34 H32 : 36	◎評価 【 B 】 ・数値目標は達成しなかったが、県立生涯学習推進センターのほか、県北教育事務所や県社会教育連絡協議会等関係機関の研修会や大会等に参加し知識の習得や資質向上に努めた。  [今後の方向性等] ・社会情勢の変化や地域課題解決に向けて幅広い知識、資質向上が求められており、日頃から学びを深めるとともに広く関係者への参加を促す。  【数値目標の実績】 県立生涯学習推進センター研修参加者数(人) R1 : 31 (対H28目標 91%) (対H32目標 86%)

施策 (2) 社会教育施設的环境整備			
項目		①公民館の整備	
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<b>中央公民館整備の方向性の検討</b>  【中央公民館】	老朽化の進んだ中央公民館のあり方、整備の方向性を検討する	[ 継続 ] ・修繕箇所や現状把握について内部協議を行った。人口減少や区画整理に伴う石切所公民館の移転建築と併せ、今後の公民館のあり方について検討した。	◎評価 【 C 】 ・施設の老朽化と今後の施設使用について、内部協議にとどまり、具体的な方向性に繋がる検討に至らなかった。  [今後の方向性等] ・個別施設計画に沿い、建替えや施設の集約化・複合化について慎重に検討を進める。
<b>施設の計画的改修</b>  【各公民館】	各公民館において、計画的な改修を行い適正な施設管理を行う	[ 継続 ] ・各公民館において施設修繕や設備更新を行った。  ○金田一コミュニティセンター 釜沢分館軒先他修繕 調理室内ガスメーター交換 体育館雨漏り修繕 ○中央公民館 下斗米分館給水ポンプ修繕 ○カシオペアセンター 川又分館引込開閉器修繕	◎評価 【 A 】 ・施設修繕と老朽化した設備の更新を実施した。また、石切所公民館の移転については今後のスケジュール等を検討した。  [今後の方向性等] ・施設利用者の安全を第一とし、要望等も考慮しながら施設修繕を行い、利用しやすい環境整備に努める。石切所公民館移転については、老朽化が進んでいる中央公民館整備の方向性も併せて検討する。

項目	②図書館の整備		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
蔵書の充実  <b>【図書館】</b>	市民の多様化するニーズに対応し、一般図書から郷土資料まで収集整備し、生涯学習活動を支える	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R1年9月下旬に館内蔵書点検を実施</li> <li>・ 受入図書 3,679冊</li> <li>・ 除籍 3,287冊</li> </ul> <p><b>【数値目標】</b> 蔵書冊数（冊）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立図書館 H28 : 96,000 H32 : 97,000</li> <li>・ カシオペアセンター図書室 H28 : 32,000 H32 : 35,000</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蔵書点検を実施し適正な管理に努め、H30年度より428冊増加し目標値を達成した。郷土資料や図書館に必要な専門書籍のほか、市民から要望の多い書籍や児童書の充実を目標に購入した。</li> <li>・ また、H30年度から開始した「えほんパック」のメニューを増やしたことにより、テーマを選んで利用できるようにした。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民からの要望を取り入れ、図書の充実に努める。</li> </ul> <p><b>【数値目標の実績】</b> 蔵書冊数（冊）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立図書館 R1 : 96,956 (対H28目標 101%) (対H32目標 100%)</li> <li>・ カシオペアセンター図書室 R1 : 36,074 (対H28目標 113%) (対H32目標 103%)</li> </ul>
施設の計画的改修  <b>【図書館】</b>	市民が安全で快適に利用できるよう施設の管理を行う	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閲覧室用イス等の布地張替修繕</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 退色や汚れが目立っていた閲覧室用イス・ソファの布地張替修繕を実施し、快適に利用できる環境づくりを推進することができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的に施設点検を実施し、必要箇所についても早期に対応を進める。</li> </ul>

## 分野4 芸術文化の振興

施策		(1) 芸術文化の振興	
項目		①芸術文化団体・郷土芸能保存団体への活動支援	
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<b>芸術文化団体の育成</b>  【生涯学習課】	芸術活動への参加の機会や芸術鑑賞の機会を提供し、芸術文化の振興を図る	<b>[ 継続 ]</b> ・芸術文化団体への活動補助 二戸市芸術文化協会 90千円 浄法寺芸能協会 30千円  ・市民文士劇を実施する二戸市民文士劇実行委員会への活動補助 二戸市民文士劇実行委員会 2,000千円	<b>◎評価 【 B 】</b> ・芸術文化団体へ補助金を交付し、市民の自主的な芸術文化活動を支援した。活動する各団体は、各種大会や展示会、公演等で活動の成果を披露し、地域の伝統文化を発信するとともに、市民が芸術文化に触れる機会を提供することができた。  <b>[今後の方向性等]</b> ・市民が主体となった芸術文化活動への支援を継続して実施するとともに、体験や発表の機会提供に努める。
<b>文化祭の開催</b>  【生涯学習課】	市民の芸術文化活動の発表の場として、文化祭を開催する	<b>[ 継続 ]</b> ・文化祭の開催委託 1,760千円 二戸会場：二戸市芸術文化協会 浄法寺会場：浄法寺地区文化祭実行委員会  <b>【数値目標】</b> 文化祭の入場者数(人) H28：5,000 H32：5,500	<b>◎評価 【 B 】</b> ・地域の特性を活かした地域文化の継承や市民が自主的に文化芸術活動に親しむために活動発表や交流する場の提供に努めた。展示発表数が前年より増えたが、入場者増加につながらなかった。  <b>[今後の方向性等]</b> ・若い世代をはじめ幅広い年代の市民が芸術文化に親しみ体験、発表する機会の提供に努める。  <b>【数値目標の実績】</b> 文化祭の入場者数(人) R1：4,884 (対H28目標 98%) (対H32目標 89%)
<b>郷土芸能保存団体の育成</b>  【文化財課】	郷土芸能団体の技術的な向上と継承、活動の活性化を図る	<b>[ 継続 ]</b> ・市指定無形民俗文化財（民俗芸能）団体17団体のうち、活動をしている12団体に対する育成補助金の交付（70,000円×12団体） 吞香稻荷神社神代神楽保存会 下斗米山伏神楽保存会 武内神社神楽保存会 坂本七ツ物保存会 金田一神楽保存会 上米沢鹿踊り保存会 深山神社神楽保存会 金田一大神楽保存会 駒ヶ嶺新山神楽保存会 大森大神楽保存会 浄法寺七ツ物保存会 浄法寺鹿踊り保存会  ・文化財愛護少年団育成補助金の交付（18,000円×1団体） 下斗米文化財愛護少年団育成会	<b>◎評価 【 B 】</b> ・各団体とも各種イベントにおいて積極的に出演することが増えてきている状況であるが、多くの団体が、後継者不足の課題を抱え、財政的にも脆弱であることから、補助金の交付により活動を支援することができた。  <b>[今後の方向性等]</b> ・引き続き、財政的支援を行い、郷土芸能祭の開催支援などと併せて、郷土芸能について市民への周知を図る。 ・後継者の確保など各団体で抱える課題について連絡協議会などの場で協議検討を行い、課題解決へつなげる。



事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
二戸市郷土芸能祭の開催支援  【文化財課】	郷土芸能祭の開催を支援し、郷土芸能活動の活性化を図る	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二戸市郷土芸能祭開催補助金の交付 二戸市郷土芸能保存団体連絡協議会 250,000円</li> </ul> <p>※R1年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二戸地区郷土芸能発表会(一戸町) 1団体出演</li> <li>北緯40° ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭(八戸市)中止</li> </ul> <p>【数値目標】</p> <p>郷土芸能祭の入場者数(人)</p> <p>H28 : 450 H32 : 500</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郷土芸能祭や各種イベントでの郷土芸能披露及び視察研修を行い、郷土芸能活動の活性化と市民の理解を深めることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、郷土芸能祭の開催支援や各種イベント出演情報の提供を行う。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止等が懸念される。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <p>郷土芸能祭の入場者数(人)</p> <p>R1 : 420 (対H28目標 93%) (対H32目標 84%)</p>
項目	②芸術鑑賞等文化事業の充実		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
芸術鑑賞事業の実施  【生涯学習課】	優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供するため、舞台や音楽などの鑑賞事業を開催	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主文化事業の開催(計18事業) 小・中・高校生を対象とした舞台芸術鑑賞事業(学校鑑賞事業)や一般等を対象とした映画上映会、さくらコンサート、アマチュアバンドフェスティバル、つるし雛展などの鑑賞型・市民参加型事業(一般鑑賞事業)</li> </ul> <p>【数値目標】</p> <p>開催事業入場者数(人)</p> <p>H28 : 7,900 H32 : 8,000</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校鑑賞事業は、質の高い音楽鑑賞や演劇鑑賞を中心に実施した。一般鑑賞事業は、市民が気軽に鑑賞でき、参加しやすい事業を企画し、市民の芸術鑑賞文化への関心が高まるよう工夫した。舞台入場者数の数値目標には達しなかったが、新しい企画を取り入れるなど利用促進に努めた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから大人まで、市民が優れた芸術文化を鑑賞する機会や、気軽に芸術文化に親しみ参加できる機会の提供に努める。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <p>開催事業入場者数(人)</p> <p>R1 : 6,396 (対H28目標 81%) (対H32目標 80%)</p>
項目	③文化施設の整備・充実		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
市民文化会館リフレッシュ事業  【生涯学習課】	計画的な改修を行い、施設の適正な維持管理に努める	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設リフレッシュ計画に基づき、施設の計画的な改修及び維持管理に努めた。</li> </ul> <p>外テラス床タイル張替工事 屋外喫煙場所設置工事 機械室鋼製建具改修工事</p> <p>【数値目標】</p> <p>市民文化会館利用者数(人)</p> <p>H28 : 55,000 H32 : 55,000</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理は適正に行われ、利用者数は数値目標を概ね達成できた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>優先順位を精査しながら計画的な施設の改修を進め、利用しやすい環境づくりに努めるとともに、指定管理者や関係機関と連携し、利用促進に向けた工夫に取り組む。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <p>市民文化会館利用者数(人)</p> <p>R1 : 54,811 (対H28目標 99%) (対H32目標 99%)</p>

事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
浄法寺文化交流センター改修事業  【Jホール】	計画的な改修を行い、施設の適正な維持管理に努める	[ 継続 ] ・事務室冷暖房修繕工事 ・その他、屋外排水修繕工事等の修繕を実施した。  【数値目標】 文化交流センター利用者数(人) H28 : 11,000 H32 : 11,000	◎評価 【 A 】 ・計画に沿って修繕や施設管理を実施し、利用者の安全確保に努めた。  [今後の方向性等] ・優先順位を精査しつつ、計画的な施設の改修を進める。  【数値目標の実績】 文化交流センター利用者数(人) R1 : 11,405 (対H28目標 104%) (対H32目標 104%)

施策	(2) 文化財の保護と活用
----	---------------

項目	①天台寺本堂・仁王門保存修理事業の促進
----	---------------------

事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
天台寺修復事業  【文化財課】	重要文化財である天台寺の本堂・仁王門の解体修理を支援・推進する	[ 継続 ] ・関係機関（国及びその外郭団体、岩手県、天台寺）との協議を行い必要な情報を共有しながら、保存修理委員会を開催し、速やかな事業の推進を図った。 ・円滑な事業推進のため補助金を交付した。 ・保存修理事業については、計画通り実施され、事業完了を迎えることができた。（事業主体：天台寺） ・防災施設等整備事業については、工事分の入札不調などにより工事着手に遅れが生じたが、年度内完了することができた。（事業主体：天台寺）  【数値目標】 保存修理事業進捗率(%) H28 : 49.5 H32 : 100	◎評価 【 A 】 ・事務支援、補助金交付などを行い、事業の推進を図ることができた。 ・H25年度から始まった事業は、年度内にすべての修復事業が完了し、360年ぶりに往時の姿によみがえった。  [今後の方向性等] ・重要文化財の所有者である天台寺と連携をとり、適切な文化財の保護に努める。 ・天台寺周辺の公民連携事業とも連動し、文化財の活用を図る。  【数値目標の実績】 保存修理事業進捗率(%) R1 : 100 (対H32目標 100%)

項目	②史跡九戸城跡の保護と活用
----	---------------

事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
史跡九戸城跡土地買上事業  【文化財課】	国史跡九戸城跡指定地を公有化し、保存措置を講ずる	[ 継続 ] ・R1年度2筆(274.3㎡)を買上予定であったが、契約前に地権者が亡くなったことで、相続登記が必要となり、協議・手続きに時間を要することから、R2年度へ繰越した。 ・公有化計画総面積 189,620.23㎡に対し、完了面積 181,730.28㎡(総面積に占める割合95.8%)	◎評価 【 B 】 ・地権者との協議を進めていたが、地権者が亡くなったことで、年度内の買上ができなかった。  [今後の方向性等] ・繰越分については、相続登記が完了した後速やかに買上を行う。また、併せてR2年度分についても年度内の買上を目指し、地権者と協議を進める。

事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
史跡九戸城跡環境整備事業  【文化財課】	国史跡九戸城跡の公園化	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡公園化の実現に向け、文化庁、史跡整備指導委員会の指導のもと、本丸二の丸の発掘調査を実施した。</li> </ul> <p>(詳細は、埋蔵文化財発掘調査事業に記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁、史跡整備指導委員会の指導のもと、第2期整備実施設計(本丸)を策定した。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡九戸城跡の発掘調査や整備実施設計を策定し、R2年度からの工事着手に向け一歩前進した。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡整備指導委員会の指導のもと、計画的に史跡整備を行っていく。</li> </ul>
史跡九戸城跡保護活用事業  【文化財課】	国史跡九戸城跡の保護、活用	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備指導委員会の開催 2回 協議内容 第2期整備実施設計 発掘調査の状況 R1年度の事業実施状況</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九戸城を活かす会への補助金交付(90,000円)</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備指導委員会を開催し、適切な史跡の保護、活用の方向性を確認することができた。</li> <li>・九戸城跡に関係する団体への支援を行い、九戸城跡の保護・活用の推進を図ることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、環境整備事業と併せて適切な保護、活用に努める。</li> </ul>
九戸城情報発信・活用事業  【文化財課】	国史跡九戸城跡の情報発信、活用	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットを作成し、情報発信を行った。</li> <li>・九戸城エントランス広場の維持管理を行った。</li> </ul> <p>[ 新規 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部「御城印」プロジェクトとして、青森県、岩手県の南部氏に関連する城館が連携して御城印の販売を行った。</li> <li>・本丸二ノ丸の桜などの樹木に、病気やコケ等が発生していることから、九戸城跡整備振興基金を活用し、維持管理について業務委託を行った。</li> </ul> <p>【数値目標】</p> <p>年間来訪者数(人) (ボランティアガイド案内者数)</p> <p>H28 : 3,500 H32 : 4,500</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度より続日本100名城スタンプラリーが始まり、昨年度に引き続き多くの来訪者が訪れた。</li> <li>・継続事業のほか、新規事業として御城印の販売や景観に配慮した維持管理を行ったことで、九戸城跡の情報発信・活用を図ることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、情報発信に努め、来訪者の増加や認知度の向上に努める。</li> <li>・ボランティアガイドが会員数の減少や高齢化などにより、活動が縮小することから、ガイドハウスの運営管理について、二戸市観光協会に業務委託を行い、適切な来訪者への対応を実施する。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <p>年間来訪者数(人) (ボランティアガイド案内者数)</p> <p>R1 : 8,893 (対H28目標 254%) (対H32目標 198%)</p>

項目	③その他文化財の保護と活用		
事業名	目的	令和元年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
<p>文化財保護事業</p> <p>【文化財課】</p>	<p>文化財等の保護・活用</p>	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二戸市文化財調査委員会議を開催した。</li> <li>・H30. 4. 13「折爪岳のヒメボタル生息地」が県指定天然記念物に指定となり、保存活用計画の策定に向け調査研究を進めている。</li> <li>・指定候補案件の調査を行った。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財調査委員会議を開催し、適切に文化財の保護、活用が図られた。</li> <li>・「折爪岳のヒメボタル生息地」が県天然記念物となり、文化財を保護し次世代に継承して行くことができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「折爪岳のヒメボタル生息地」の保存活用計画を協議するなど、適切な文化財の保護、活用に努める。</li> <li>・指定候補案件については、指定に向けた調査を引き続き行う。</li> </ul>
<p>日本遺産申請事業</p> <p>【文化財課】</p>	<p>文化財の活用を図るため、日本遺産認定を目指す。</p>	<p>[ 継続 ]H30～</p> <p>R2. 1. 15 関係各課及び八幡平市と協議を進めてきた申請手続きを完了した。</p> <p>【申請ストーリー】 ”奥南部”漆物語 ～安比川流域に受け継がれる伝統技術～</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漆をテーマとして、八幡平市と共同での申請を、予定通り完了することができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内及び八幡平市との協議を進め、事業を推進する協議会等を早期に立ち上げ、事業を推進する。</li> </ul>
<p>埋蔵文化財発掘調査事業</p> <p>【文化財課】</p>	<p>埋蔵文化財包蔵地の保護</p>	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内遺跡発掘調査事業</li> </ul> <p>【個人住宅】吉田館、堀野遺跡群、中曽根遺跡、三ノ丸遺跡（4件/549.6㎡）</p> <p>【民間開発】天台寺跡（2件/128.9㎡）</p> <p>【公共事業】土地区画整理事業：前小路遺跡、上里遺跡群（2件/4,222.1㎡）</p> <p>【史跡調査】史跡九戸城跡：本丸、二ノ丸大手虎口（2件/1,077.99㎡）</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑かつ適切に調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の記録保存を行うことができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、適切な調査に努める。</li> <li>・現地説明会や発掘調査報告会等を開催し、発掘調査及び遺跡の価値等について、理解度を深める取り組みを行う。</li> </ul>
<p>埋蔵文化財保存活用事業</p> <p>【文化財課】</p>	<p>文化財保護の普及</p>	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習の企画、受け入れを行った。（2回 28人）</li> </ul> <p>[ 新規 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度より南部「御城印」プロジェクトとして、御城印の販売を行ったが、販売場所を埋蔵文化財センターとしたことから、展示室入館者数の増加につながった。</li> </ul> <p>【数値目標】</p> <p>埋蔵文化財センター入館者数(人)</p> <p>H28：520 H32：550</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・続日本100名城スタンプラリー参加者への入館の呼びかけと御城印販売が相乗効果を生み来館者が増えている。展示室を見学することで、埋蔵文化財の理解を深めるとともに普及啓発を図ることができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告会の開催、体験学習の企画、企画展の開催など埋蔵文化財の活用を推進する。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <p>埋蔵文化財センター入館者数(人)</p> <p>R1：1,359（対H28目標 261%） （対H32目標 247%）</p>

施策	(3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承		
項目	①歴史民俗資料の収集と研究の推進		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
民俗資料の収集・調査	歴史民俗資料の収集、保存、調査	<p>[ 継続 ]</p> <p>歴史民俗資料館において、民俗資料等の収集、調査研究、各種照会への対応を行った。</p> <p>1 二戸歴史民俗資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講座「続・新にのへ物語Ⅳ」 5回開催 受講者 118人</li> <li>文化祭特別展 「二戸市の子安さま さまざま」 来場者 330人</li> </ul> <p>2 浄法寺歴史民俗資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化祭特別展 「二戸市の子安さま さまざま」 来場者 115人</li> <li>文化講演会 「天台寺保存修理事業の概要」 来場者 55人</li> </ul> <p><b>【数値目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二戸歴史民俗資料館入場者数(人) H28 : 1,100 H32 : 1,100</li> <li>浄法寺歴史民俗資料館入場者数(人) H28 : 700 H32 : 700</li> <li>講座、企画展の開催(回) H28 : 8 H32 : 9</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入館者数については、両館ともに数値目標を達成した。</li> <li>講座・企画展については、積極的な開催により、歴史・民俗資料の周知を図ることができた。特にも、特別展では予想を上回る来場者があり、調査員の日ごろの調査研究の成果が出たものといえる。</li> <li>資料館については、民俗資料等の受け皿としての機能を果たすことができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、民俗資料の収集と調査研究を行うとともに、多くの人々が資料館を活用できるよう、講座や企画展を開催していく。</li> </ul> <p><b>【数値目標の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二戸歴史民俗資料館入場者数(人) R1 : 1,234 (対目標 112%)</li> <li>浄法寺歴史民俗資料館入場者数(人) R1 : 869 (対目標 124%)</li> <li>講座、企画展の開催(回) R1 : 9 (対H28目標 113%) (対H32目標 100%)</li> </ul>
【文化財課】			
項目	②歴史民俗資料館整備方針の検討		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
歴史民俗資料館の整備の検討	地域の歴史、文化、民俗の各資料の展示保管施設の整備	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史民俗資料館の整備については、九戸城周辺地区及び天台寺周辺地区のあり方と併せて検討することとし、公民連携基本計画に位置づけられた。</li> </ul>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公民連携基本計画において位置づけられたことにより、検討の方向性が示された。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、公民連携基本計画において九戸城周辺地区、天台寺周辺地区での移転、建替え、複合化集約化などについて慎重に検討を進める。</li> </ul>
【文化財課】			
項目	③市史編さん事業の推進		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
史料叢書の継続発刊	二戸市に関する史実をきちんとまとめ、後世に残し伝えるため、数多く残されている史料の調査研究をしながら二戸市史を刊行する	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>史料叢書第二十集「藩政期の二戸 福岡 浄法寺Ⅲ」を発刊した。</li> </ul>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書籍の発刊に加え、市史編さん室嘱託員が図書館主催の古文書解読講座で講師を務めるなど、歴史への興味を喚起する取組を実施した。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内に現存する史料は多数あり、継続して史料の読解整理を進め、史料叢書等にまとめ史実を残し伝えていく。</li> </ul>
【生涯学習課】			

## 分野5 スポーツの推進

施策		(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	
項目		①生涯にわたるスポーツの推進	
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
スポーツ・交流大会・スポーツイベント・フォーラム等の開催  【生涯学習課】	子どもから高齢者まで、さまざまなライフステージでスポーツを楽しむことができる機会や地域住民のニーズに応じたスポーツ活動の環境の提供に努める	[ 継続 ] ・市体育協会や体力づくり振興会等と連携し、各種大会等を開催した。 ニュースポーツ交流大会 115人 体力づくり野球大会 19チーム 体力づくりソフトバレー大会 5チーム 市内少年野球大会 5チーム 市民水泳大会 126人 市内小中学校相撲大会 8校 16チーム 市内スキー選手権大会 27人 ナイターバレーボール大会 3チーム等 市民総参加スポーツ大会 ※台風のため中止	◎評価 【 A 】 ・計画した各種大会を開催することにより、スポーツを楽しむ機会、スポーツ活動の環境の提供に努め、状況に応じ地区大会との合同開催やオープン参加を認めた大会が行われた。 ・市民総参加スポーツ大会は台風のため中止の判断をしたが、その他の大会は参加者の安全に配慮し実施した。  [今後の方向性等] ・引き続き、スポーツに触れ合える機会の提供と、環境整備に努める。
健康スポーツ教室・出前講座  【生涯学習課】	心身の健康の保持増進やスポーツに参加するきっかけとなるような機会を提供する教室等の開催に努める	[ 継続 ] ・市体育協会や体力づくり振興会等と連携し、各種教室等を開催した。  水中運動教室 19回 234人 柔道・剣道教室 75人 浄法寺地区スポーツ教室 27人 にのへ土曜チャレンジ塾 (ニュースポーツ体験) 3回 76人等	◎評価 【 A 】 ・各種教室等については、幅広い世代の人たちを対象に計画どおり開催し、スポーツに参加する機会を提供した。  [今後の方向性等] ・引き続き、心身の健康保持や増進、健康寿命を延ばすため、二戸市体育協会や関係機関との連携し、健康スポーツ教室等の開催に努める。
スポーツ関連情報の提供  【生涯学習課】	各種大会の開催情報、結果情報を発信し、スポーツに対する意識の高揚と興味の増進に努める	[ 継続 ] ・市体育協会や各競技団体と連携を密にし、広報にのへやホームページを活用し、スポーツ開催情報や結果の周知を図った。(お知らせ号へ毎月掲載)	◎評価 【 A 】 ・広報にのへやホームページを活用した情報提供に努めた。過去の大会結果や、広報にのへに掲載できなかった成績もホームページで紹介し、市民の活躍や取り組みの発信に努めた。  [今後の方向性等] ・広報、ホームページを活用し、迅速かつ的確に情報発信を行う。
項目		②地域のスポーツ環境の整備	
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
スポーツ推進委員の研修会参加  【生涯学習課】	「スポーツを支える(育てる)人」としての研さんは不可欠であり、各種の研修会への積極的な参加を進め、資質の向上に努める	[ 継続 ] ・初任者研修や県研修会に参加し、幅広く他地域の事例を学んだ。東北地区研修会(福島県)は、台風被害のため中止、二戸地区研修会は新型コロナウイルス感染予防のため中止。	◎評価 【 A 】 ・各種研修会へ参加し、他地域の委員と交流、情報交換するなど、様々な知見を得ることができた。  [今後の方向性等] ・引き続き、自主開催にあわせ、他団体の開催情報を把握し、参加者の資質向上に努める。

事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
総合型地域スポーツクラブの支援・育成  【生涯学習課】	身近な地域でスポーツに親しむことのできる環境を充実させるため、地域住民の自主的な運営を目指す「総合型地域スポーツクラブ」の支援、育成に努める	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄法寺スポーツクラブ、氷上スポーツクラブの活動に対し、広報等での周知や実施事業に対し補助を行った。</li> </ul> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブ数(団体) H28 : 2 H32 : 3</li> <li>・加入者数(人) H28 : 450 H32 : 500</li> </ul>	<p>◎評価 【 C 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規に創設を目指す団体の発掘や新クラブ創設への支援は低調だったが、既存クラブへの支援は計画どおり実施できた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、既団体の支援とともに新たな団体の創設に努める。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブ数(団体) R1 : 2 (対H28目標 100%) (対H32目標 67%)</li> <li>・加入者数(人) R1 : 296 (対H28目標 66%) (対H32目標 59%)</li> </ul>
項目	③スポーツを通じた健康づくりの推進		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
スポーツ指導者講習会の開催  【生涯学習課】	各地域において、心身の健康の保持増進等を気軽に取り組むことができる環境を整えるため、環境を支える人材の育成に努める	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育協会等と連携し、指導者講習会を開催した。</li> </ul> <p>スポーツ少年団指導者講習会</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会を開催し、指導者の資質向上・人材育成の機会を提供し、講習会を開催した。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、他団体の開催情報を把握し、講習会参加を促すなど参加者の資質向上に努めると共に、参加者を増やす取組も検討する。</li> </ul>
項目	④スポーツ施設の整備・充実		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
学校体育施設開放事業  【生涯学習課】	多くの市民がスポーツに触れ合えるために、スポーツ施設や学校体育施設の効果的・効率的な活用に努める	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の体育施設を開放することにより、スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりに努めた。</li> </ul> <p>R1 年度実績 15団体 430回 5,623人</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に市民へ周知し、利用促進に努めた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、施設の有効活用に努める。</li> </ul>
スポーツ施設の計画的改修  【生涯学習課】	老朽化が進んでいるスポーツ施設は計画的に整備・改修を進める	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合スポーツセンタートレーニング室暖房機修繕</li> <li>・総合スポーツセンター屋上防水シート修繕</li> <li>・総合スポーツセンター真空ヒーター修繕</li> <li>・浄法寺運動公園バックスクリーン・遊具修繕</li> <li>・浄法寺体育館受変電設備改修工事</li> <li>・総合スポーツセンタートレーニング機器更新</li> </ul> <p>等</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化の状態に応じて、計画的かつ適切に改修を進めており、達成できた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、利用団体、指定管理者と協議を重ね、安全な施設運営に必要な整備・改修を進める。</li> </ul>
スポーツ施設整備基本構想の策定  【生涯学習課】	市民が、安全に楽しくスポーツに親しめ心身の健康保持、増進を推進するとともに、全国レベルの選手の育成・強化を図る環境整備のため基本構想の策定をする	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文教施設指定管理等検討委員会を開催することができず、修繕等予算の検討にとどまった</li> <li>・カーリング施設に関しては、カーリング関係者からの課題解決に対する意見・提案を受け、庁内検討会を行った。</li> </ul>	<p>◎評価 【 C 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のスポーツ施設について、施設の維持に関しては検討を行った。スポーツ施設整備基本構想の策定には至らなかった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設全体の基本構想の策定にむけ、利用者、利用団体等とも協議し、市民が安全にスポーツに取り組める環境整備・施設整備について検討を進めていく。</li> </ul>

施策			
(2) 競技力向上に向けた選手の育成と指導者の養成			
項目			
①選手の育成・強化と競技力の向上			
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
各種スポーツ団体の育成・支援  【生涯学習課】	各種競技人口の増加と競技力の向上を図るため、学校部活動、地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等と連携に努める	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ団体の活動に対し、補助金等の支援を行った。</li> </ul> <p>いわて国体記念スポーツ交流事業補助金(5団体) 500千円 市体育協会補助金 3,000千円 市スポーツ少年団補助金 60千円 市体力づくり振興会補助金 600千円 浄法寺地区体育祭実行委員会補助金 300千円 県民大会相撲競技補助金 150千円 ラジオ体操・みんなの体操会補助金 673千円</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の活用により、他地域との交流が図られ、市内競技者のレベルアップにつながった。また、シビックセンター20周年記念事業として開催した「ラジオ体操・みんなの体操会」は、多数の参加があり、市民の健康・体力づくりに対する意識付けのきっかけとなった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業の周知徹底を図り、引き続き、各種団体等に対して支援を行うと共に、健全な団体育成に努める。</li> </ul>
各種スポーツ教室の開催  【生涯学習課】		<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市体育協会や各競技団体等と連携し、各種教室等を開催した。</li> </ul> <p>柔道・剣道教室 75人 スキー選手権大会 23人</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種教室等では、小中学生を対象に計画どおり開催し、技術等の向上につながった。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>競技者や各種団体の意向把握し、スポーツ教室等を開催する。</li> </ul>
「二戸市小・中学生スポーツ活動指針」に係る調査の継続  【生涯学習課】	小中学生の健全な心身の育成につながるスポーツ活動の実態把握のため調査を行う	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、スポーツ少年団等に対しスポーツ指針(改訂版)の周知徹底に努めた。</li> </ul>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県の方針改定に伴い、「二戸市小学生・中学生スポーツ活動指針」を改訂し、各学校、スポーツ少年団等への周知に努めた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二戸市小・中学生スポーツ活動指針(H31.4月改訂版)の周知徹底と共に、現状把握調査を行い、小・中学生の健全な心身の育成に努めるよう指導者等の協力を得ていく。</li> </ul>
項目			
②トップアスリートにふれる機会の創出			
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等の開催  【生涯学習課】	夢や希望を育み、競技力を向上させる意識高揚を図るため、トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等を開催する	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県大会レベルの大会が開催され、高いレベルの技術を見ることができたが、市主催による事業の実施には至らなかった。</li> </ul>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トップアスリートの講演等を独自開催することはできなかったが、ラジオ体操・みんなの体操会の実施や各種スポーツ選手巡回指導事業等の情報発信に努めた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体等と連携し、トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等の開催について、情報発信にも努めていく。</li> </ul>



項目	③スポーツ指導者等の養成・研修		
事業名	目的	令和元年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>スポーツ指導者研修会の開催</p> <p>【生涯学習課】</p>	<p>スポーツ指導者等が専門能力を習得する研修会等を開催し、指導者及び審判員等の養成に努める</p>	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育協会等と連携し、指導者講習会を開催した。</li> </ul> <p>スポーツ少年団指導者講習会</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市登録スポーツ指導者数(人) H28 : 150 H32 : 160</li> <li>・日本体育協会公認資格取得者数(人) H28 : 50 H32 : 55</li> </ul>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会を開催し、指導者の資質向上・人材育成の機会を提供した。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、自主開催にあわせ、他団体の開催情報を把握し参加を促すなど、参加者の資質向上に努めると共に、参加者を増やす取組も検討する。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市登録スポーツ指導者数(人) R1 : 147 (対H28目標 98%) (対H32目標 92%)</li> <li>・日本体育協会(現日本スポーツ協会)公認資格取得者数(人) R1 : 59 (対H28目標 118%) (対H32目標 107%)</li> </ul>
<p>スポーツ推進委員の活動機会の拡充</p> <p>【生涯学習課】</p>	<p>スポーツに関する活動や、選手の育成や大会等の運営に積極的に参画できる環境整備に努める</p>	<p>[ 継続 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員が運営や指導に参画し、各種事業を行った。</li> </ul> <p>ニュースポーツ交流大会 市スポーツ推進委員研修会 ラジオ体操・みんなの体操会</p> <p>【数値目標】</p> <p>市スポーツ推進委員活動参加延べ人数(人)</p> <p>H28 : 55 H32 : 60</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種大会の開催により、スポーツ推進委員が継続参加し、運営や指導の立場でその知識や経験を発揮する機会ができた。</li> </ul> <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員と共に新たな活動の場の検討を進めるとともに、熱意と能力がある指導者を発掘し、資質向上のための研修等を充実させる。</li> </ul> <p>【数値目標の実績】</p> <p>市スポーツ推進委員活動参加延べ人数(人)</p> <p>R1 : 56 (対H28目標 102%) (対H32目標 93%)</p>